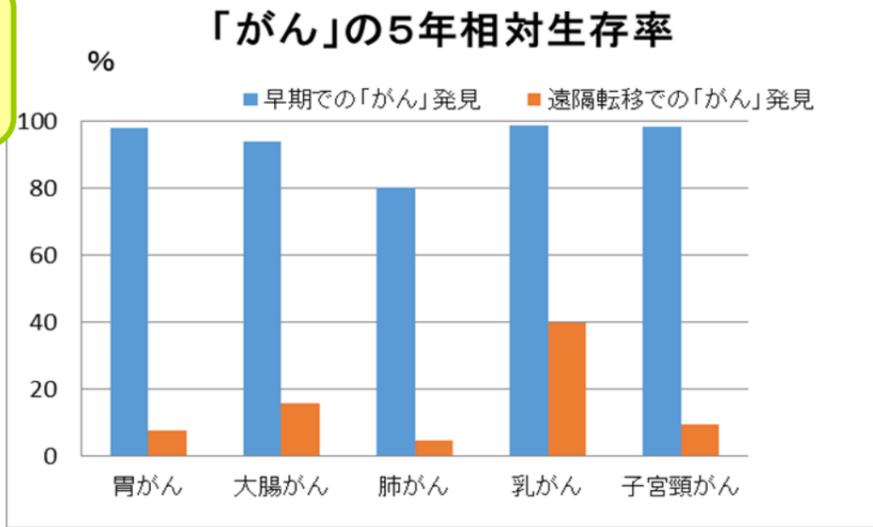


●がんは発生しても自覚症状がありません。●

大切な人のため、自分のため、正しい知識を身に付け、がん検診を定期的に受けましょう。

早期発見！
助かるいのち！

がんは1つの細胞から発生し、時間をかけて成長します。検診などにより「がん」を早期に発見できた場合には、5年後の生存率が大きく高まります。

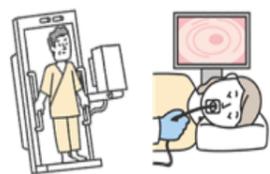


出典：全国がん罹患モニタリング集計 2009-2011 年生存率報告

有効な「がん検診」とは、死亡率を減少させることが科学的に証明された検診のことです。この検診は、住んでいる市町村や職場で受けることができます。

資料 がん検診の種類 (1)

国が推奨しているがん検診の対象年齢と検診間隔



胃がん検診

胃部X線検査
胃内視鏡検査

対象年齢：50歳以上の男女
受診間隔：2年に1回

※当分の間、胃部X線検査については、40歳以上、年1回の実施もできます。



大腸がん検診

便潜血検査

対象年齢：40歳以上の男女
受診間隔：年1回

資料 がん検診の種類 (2)

国が推奨しているがん検診の対象年齢と検診間隔



肺がん検診

胸部X線検査

対象年齢：40歳以上の男女
受診間隔：年1回

※高リスクには呼吸器検診も併用できます。



乳がん検診

マンモグラフィ

対象年齢：40歳以上の女性
受診間隔：2年に1回

※乳腺検診も併用できます。



子宮頸がん検診

細胞診

対象年齢：20歳以上の女性
受診間隔：2年に1回

文部科学省 がん教育推進のための教材 補助教材 中学校・高等学校版 スライド教材モジュール5：検診の意味より

費用は、市町村によって異なりますが、自己負担は、¥500～¥2,000程度です。

- 【参考】
- 山梨のがん情報
 - 国立研究開発法人 国立がん研究センター がん情報サービス
 - 科学的根拠に基づくがん検診推進のページ
 - 公益財団法人がん研究振興財団

編集・問い合わせ先

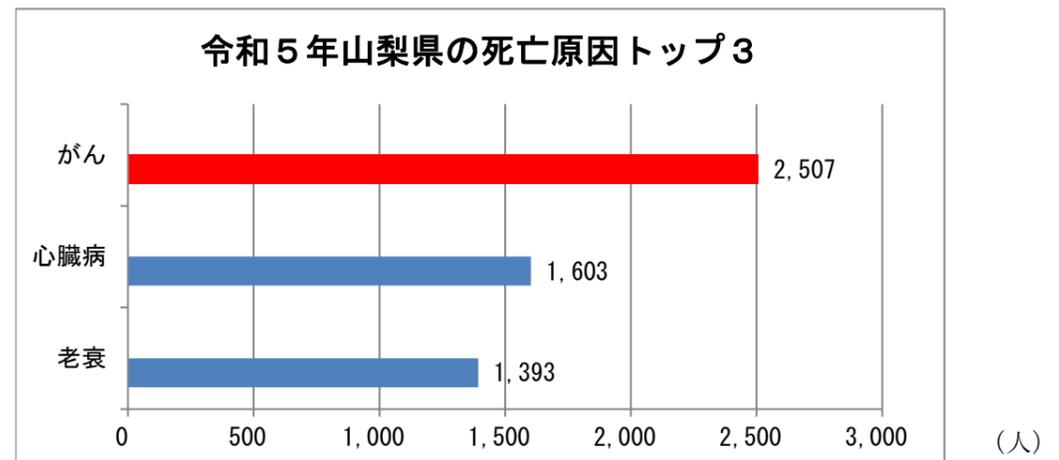
〒400-8501 山梨県甲府市丸の内 1-6-1
山梨県教育委員会 055(223)1785

がん予防！

私たちにできることって何だろう？

山梨の現状

山梨県では、昭和58年から死亡原因の第1位となっている「がん」。令和5年には、2,507の方が、がんで亡くなっています。



出典：令和5年人口動態統計

山梨県で、令和2年に新たにがんと診断された罹患数*と罹患割合です。



男性
総数 3,436件

- 1位 前立腺がん 617件 (18.0%)
- 2位 大腸がん 500件 (14.6%)
- 3位 肺がん 480件 (14.0%)
- 4位 胃がん 434件 (12.6%)
- 5位 結腸がん 312件 (9.9%)



女性
総数2,614件

- 1位 乳がん 603件 (23.1%)
- 2位 大腸がん 392件 (15.0%)
- 3位 結腸がん 277件 (10.6%)
- 4位 肺がん 273件 (10.4%)
- 5位 胃がん 187件 (7.2%)

*罹患数：一定の間に、新たにがんと診断された数。

出典：全国がん登録都道府県版標準集計表2020(山梨県)

山梨県教育委員会

【要因とがんと関連】 出典：国立がん研究センター「科学的根拠に基づくがんリスク評価とがん予防ガイドライン提言に関する研究」

がん種 要因	肺がん	肝がん	胃がん	大腸がん	乳がん	食道がん	子宮頸がん	子宮体がん
喫煙	▲▲▲	▲▲▲	▲▲▲	▲▲▲	▲	▲▲▲	▲▲▲	
受動喫煙	▲▲▲				▲			
飲酒		▲▲▲	▲▲ (男)	▲▲▲	▲▲▲ (閉経前)	▲▲▲		
肥満		▲▲▲		▲▲	▲ (閉経前) (BMI30以上) ▲▲▲ (閉経後)			▲
運動				▼▼	▼			
感染症	▲ (肺結核)	▲▲▲ (HBV, HCV)	▲▲▲ (H.ピロリ菌)				▲▲▲ (HPV16, 18)	
野菜			▼					
果物	▼		▼					
食物繊維				▼				
高塩分食品			▲▲					
熱い飲食物						▲▲		

「▲」: がんにかかるリスクを上げる、「▼」: がんにかかるリスクを下げる
 「▲▲▲・▼▼▼」: 確実、「▲▲▲・▼▼▼」: ほぼ確実、「▲・▼」: 可能性あり

評価時期：令和5年8月

県民の責務

- がんに対する正しい知識を持ちます。
- がん予防に必要な注意を払います。
- がん検診を積極的に受けます。

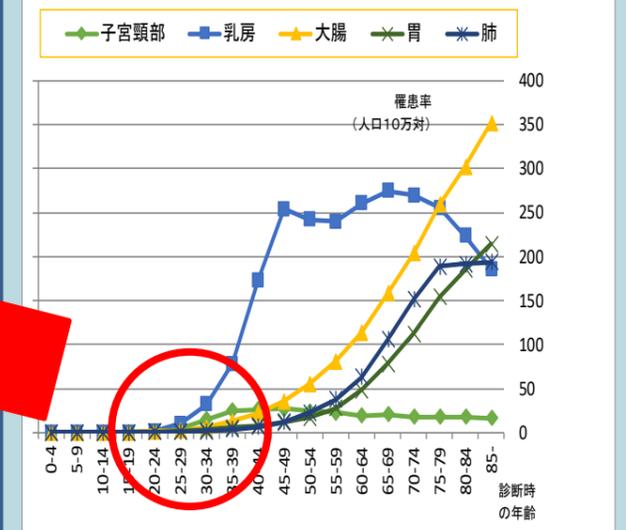
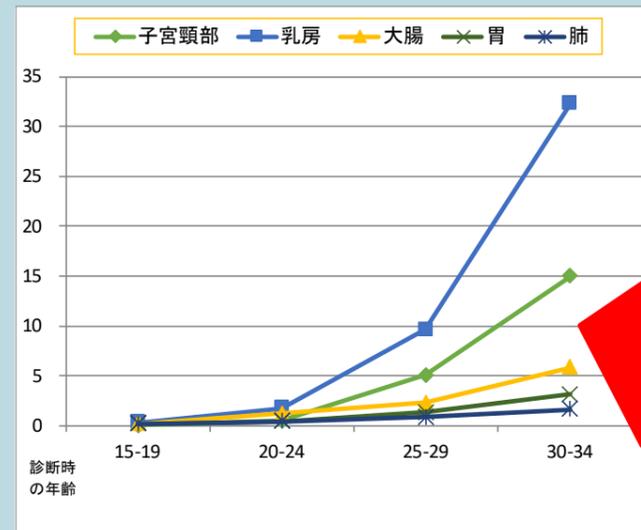
- たばこは吸わない、他人のたばこの煙をさける
- お酒はのまない（大人になったら適量を）
- バランスのとれた食生活を
- 塩辛い食品は控えめに
- 野菜や果物は豊富にとる
- 適度に運動をする
- 適切な体重を維持する
- ウイルスや細菌の感染予防と治療をする



子宮頸がんは、若い女性に多いがんです！

子宮頸がんは、女性の子宮の入り口部分（子宮頸部）にできるがんです。

日本では、20～30歳代の女性がかかるがんの中では多く、近年増加傾向にあります。日本での発症率は人口10万人あたり約16人です。年間10,000人以上の人が子宮頸がんにかかり、2,900人以上の人が亡くなっています。



出典：全国がん登録罹患数・率報告2020

子宮頸がんの原因は？

子宮頸がんは、他のがんとは異なり、原因が解明されています。子宮頸がんの原因は、ヒトパピローマウイルス（HPV）というウイルスの感染であることが明らかになっています。

感染率が高いんです！

HPVは、皮膚と皮膚（粘膜）の接触によって感染するウイルスで、多くの場合、性交渉で感染すると考えられています。全ての女性の80%が一生に一度は感染していると報告があるほどでもありふれたウイルスです。このため、性交渉経験のある全ての女性が子宮頸がんになる可能性を持っています。ウイルスに感染しても、ほとんどの場合、ウイルスが自然に排除されず。しかし、一部の人では感染が続き、がんが引き起こされる場合があります。

早期発見が大切です！

子宮頸がんは、初期症状がほとんど現れません。早期発見のために、ワクチン接種をした方も、20歳を過ぎたら、定期的に子宮頸がん検診を受けましょう。